



執務事例集 健康教育 A4版220頁

平成7年10月26日発行

目次

[はじめに](#)

静岡県学校保健会小中学校養護教諭部会長 林 典子

1 子供の健康実態をふまえた健康教育

- (1) 歯の健康
- (2) 目の健康
- (3) エイズ予防教育
- (4) かぜの予防
- (5) 小児期からの成人病予防

2 場を生かした保健指導

- (1) 朝の会・帰りの会
- (2) 体重測定時の保健指導
- (3) 校内放送による保健指導
- (4) 集会を通しての保健指導

3 ティーム・ティーチング(T・T授業)

4 児童・生徒保健委員会

5 コンピュータの活用

6 掲示資料

7 保護者への働きかけ

編集後記

BACK

はじめに 静岡県学校保健会小中学校養護教諭部会長 林 典子

「人間の幸福の基礎は、生涯を通じての心身の健康と、人生の各時期に応じた生きがいをもつことにあるとの認識が深まってきている。したがって、一人一人が健康の大切さを理解するとともに、生涯にわたって自らの生活の質を高めることができる教育が重要である。」

これは「独り立ちできる子供の育成」に示された一節で、健康づくりは、生涯にわたって実践されるべきものであると明示している。

そこで、学校教育では、健康づくりの基礎的、基本的なものを指導し、児童生徒が学習した事を基盤にしたり、参考にしたりして、現在及び将来における健康づくりに発展させられるよう取り組みの充実を目指している。

そんな中、各学校の養護教諭は、生涯を通じての健康づくりを展望し、学校教育全般にわたって健康教育の計画を立案したり、資料を作成したり、指導したりしている。

この度、これまでのこの取り組みを実践事例集として編集し、『養護教諭執務事例集 - 健康教育 -』を作成した。

中には、児童生徒の健康課題を総合的に計画し実践した事例や、場を生かした保健指導の実践、健康情報を健康教育にどう生かすか等の実践等々、創意と工夫に満ちた取り組みが紹介されている。また、担任と養護教諭のチームティーチングによる指導も紹介されている。

この具体的な実践を参考にいただき、各学校・個々に応じた健康教育を推進していただければ幸いである。

発行に際しまして、ご多忙の中実践事例を執筆してくださった先生方、資料を提供してくださった先生方に、心より感謝の意を表します。

編集後記

県内小中学校において、時と場を生かした健康教育の実践事例を集めた『養護教諭執務事例集 - 健康教育 -』の発行の運びとなりました。

平成6年度に、学校保健法施行規則の一部改正により健康診断の見直し等がなされ、趣旨として、健康診断を健康教育に生かすよう示されています。これは生涯の健康づくりを踏まえたものであります。

また、学校教育法施行規則の改正により、資質を備えた養護教諭は、保健主事になれる道も開かれました。養護教諭の専門性を発揮するとともに、学校全体を視野においた健康教育推進の核としての活動も要求されてきています。

この事例集が、学校の健康教育推進に大いに活用されることを切に希望します。

編集にあたり、執筆、資料提供等、多くの方々にご協力賜りましたことに厚くお礼申し上げます。紙面の都合により掲載できなかった事例もありましたこと、お詫び申し上げます。

編集委員

○小林アサ子 清水一美 伊口佳子 勝俣福代 山本恵美子 関美千代 塚本洋江 松本美千代 澤木教子 田中祐子

岡 薫 鈴木千賀子 高木洋子

制作協力 (株)静岡教育出版社

[BACK](#)